

# おれんじニュース

No371

2021年4月

## CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
火曜岩登山	5
水曜登山	6
ボルダリング	7
初冬の多良山系縦走	8
おれんじカレンダー	10

鬼木の棚田

2021年	4月	5月	時間	場所
定期総会	3(土)		13:30~17:00	西諫早公民館
専門部会	13(火)	11(火)	13:30~15:30	山川町第二自治会
全体集会	28(水)	26(水)	19:00~21:00	西諫早公民館

## 4 月



## 月例山行案内

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	4/4(日)	4/18(日)	4/25(日)	4/30(金)
山名(行事)	岩屋山～稲佐山	国見山～八天岳	目丸山	猿葉山
地 図	長崎西北部	蔵 宿	畝 野	愛 野
集合場所	西諫早駅 JR7:23 発 (7:10 集合蔵守)	諫早駅西口 7:20 西 諫 早 駅 7:30	諫早駅西口 6:20 西 諫 早 駅 6:30	諫早駅西口 9:20 西 諫 早 駅 9:00
難 易 度	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	16:00	17:00	19:00	14:00
歩行時間	6.0h	5.0h	4.0h	2.0h
交通手段	JR & バス	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	無し	なし	なし	無し
温 泉	無し	なし	なし	無し
参加費	実費(約 2,000)	5,000	5000	700
申込期限	3/27	4/10	4/18	4/26
集 約	中野	田村	山下ちづこ	田中
備 考	長崎名山の岩屋山から 稲佐山を縦走。	県北最高峰の国見山 をめざし、なだらかな 高原台地を歩く。	春の花、カタクリ、山シ ャクヤク等を見に行き ましょう。	1300 本の鳥居が並ぶ 猿葉稲荷と山頂からの 展望。

## 5 月

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	5/9(日)	5/16(日)	5/23(日)	5/28(金)
山名(行事)	名尾峠～金立山	英岩、本城岳、黒髪山	土器山、腰巻山	高岩山
地 図	広滝、佐賀北部	有 田	広 滝	雲 仙
集合場所	諫早駅西口 7:50 西 諫 早 駅 8:00	諫早駅西口 7:00 西 諫 早 駅 7:10	諫早駅西口 7:00 西 諫 早 駅 7:10	諫早駅西口 9:20 西 諫 早 駅 9:10
難 易 度	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	17:00	17:00	18:00	15:30
歩行時間	4.5h	5.0h	4.5 / 5.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	3,500	3,500	4,000	700
申込期限	5/1	5/8	5/16	5/24
集 約	中野	田村	山下ちづこ	田中
備 考	始皇帝の命で不老不死 の薬を求め当地を訪れ た徐福伝説の山	山頂からの展望有田 陶器見学	山岳信仰の霊山で上宮 には数対の巨石がある	高岩山登山と宝原園地 のミヤマキリシマ観賞

## 事務局より

### ◇ 新会員の紹介

- ・石部 邦昭さん・・・平成3年4月1日付で入会されました。  
四季折々の自然を堪能すること、運動不足の解消及び皆様との人間的ふれあいが入会の動機です。経験不足ですが、よろしくお願いいたします。



### ◇ 新型コロナ感染予防再確認

#### 1. 感染しないために

- ① 正しい手洗い、消毒
- ② マスクの適正使用
- ③ 3密回避



#### 2. 感染をさせないために

- ① マスクの使用、咳エチケット
- ② 3密回避
- ③ 毎日の体温測定、体調管理

### ◇ 第42回定期総会のお知らせ

コロナ禍の中での開催となりますので、会員各位は当日の体温を測定し37度以上ある方、また体調のすぐれない方は参加を自粛して下さい。

日時:4月3日(土) 13時30分～2時間程度とします。

場所:西諫早公民館2F第二講座室

マスク使用、消毒液の持参、大声での会話等禁止とします。



### ・一般参加者保険の見直し(案)について

2018年度より継続してきたクラブとしての一般参加者の保険については、3月31日をもって終了し、4月以降は契約しません。従って、一般参加者は極力自身で1日保険などに加入する事を奨めたい。

但し、本クラブが主催する山行で一般参加者が事故に遭遇した場合は、労山山岳事故対策基金から見舞金が出る制度が適用できる場合もあります。

なお、この案件は事務局の判断であり、総会にて決議したいと思います。

### ◇ 県連より

- ・第56期県連定期総会は5月に開催予定(詳細は後日決定次第報告します)
- ・緊急連絡体制の運用方法を見直し
- ・PCを購入してインターネット接続を検討中

### ◇ 本の紹介



#### 内 容 :

世界第二位の高峰K2に日本人女性として初めて登頂した小松由佳。標高8200mでビバークを余儀なくされた小松は命からがら下山し、自分が大きな時間の中で生かされているに過ぎないと知る。シリアで出会った半遊牧民の男性ラドワンと結婚、彼の大家族の一員となる。平和だったシリアにも「アラブの春」の波は訪れ、一家も否応なく内戦に巻き込まれる、政府軍兵士となったラドワンは軍を脱走、難民となる、しかし安全を手にしたはずのヨルダンで境遇に悩み、再びシリアに自らの生きる意味を求めようとする。

#### 小松由佳 :

フォトグラファー、1982年秋田生まれ高校時代から登山に魅せられ、内外の山に登る。2006年、世界第二位の高峰K2(8,611m)に日本人女性として初めて登頂。(女性では世界で8人目)、上村直己冒険賞、秋田県民栄誉賞を受賞。草原や砂漠等自然とともに生きる人間の暮らしに惹かれ、旅をするなかで、シリアで半遊牧民の男性と知り合い結婚。2012年からシリアの内戦・難民をテーマに撮影を続ける。

# 定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	2月27日				
場所	運動公園				
参加数	13名	1/2 引き上げ	1/3 引き上げ	カウンターラッペル	カウンターラッペル

## 火曜岩ハイキング

月 日	2/23多良岳	3/2波佐見白岳山	3/9井樋ノ尾岳	3/16諫早烽火山
参 加	12名	10名	9名	10名
行 程	10:00 八丁谷～12:00 金泉寺 ～13:15 多良岳～14:00 金泉寺 ～15:30 八丁谷	11:00 中尾郷習得館～ 11:20 白岳山～12:00 習得館— 13:00 鬼木の棚田— 14:00 松幸陶業—16:30 西諫早	9:45 入口～10:10 井樋ノ尾神社～ 11:10 井樋ノ尾岳～12:00 高岩大権現～ 12:25 井樋ノ尾神社～13:19 入口	10:15 登山口P～10:40 烽火台レプリカ～ 11:15 烽火山～11:45 登山口P
感 想	八丁谷からの登山道は水場が消失している以外荒廃無し、キツネノミソは多くが期待できる。多良岳のマンサクはざりざりOK	白岳山は白山神社である。白磁の岩石を掘り出した所、標高差は120m。鬼木の棚田は綺麗であった窯業も見学出来て良かった。	登山口とも分らぬ所から尾根に登り上がり、後は尾根歩きながら、ナイフリッジのような岩場もあり。権現祠からロープを補助にして下山。	登山道は舗装されており、歩きやすかったが雨模様の天気で霧が発生して、烽火山頂上の展望はなかった。
備 考	多良岳 	鬼木の棚田 	井樋ノ尾の細尾根 	烽火台レプリカ 

## 水曜登山

月 日	2/24 稲佐山	3/3 長崎烽火山	3/10 経ヶ岳	3/17 高岳
参 加	9名	8名	7名	7名
行 程	9:10 清香園P～9:40 権現岩～ 11:20 稲佐山頂上～13:20 清香園P	9:10 片淵P～10:00 七面山妙光寺～ 11:05 烽火山～11:40 武攻山 12:10 烽火山～14:30 片淵P	9:10 黒木P～大払～10:47 中山越～ 11:40 経ヶ岳～12:30 つげ尾～ 14:20 黒木P	9:20 白雲の池P～10:00 絹笠山～ 11:10 高岳～13:15 知恩洞～ 13:35 一切径の滝～14:30 白雲の池P
感 想	権現岩は右に巻いて登った。若干1名Y女氏は直登した。登山道から長崎市内の展望も良かった。	春の日差しの中、のどかな山行だった。妙光寺の啓翁桜は見頃を少し過ぎていた。	何回登っても経ヶ岳はハード。特につげ尾のガラ場は緊張する。しかし天気は快晴で気持ちの良い山行となった。	絹笠山から高岳への登山道は予想していたより明瞭で歩きやすかった。高岳登頂は初めてだったが、展望はよくなかった。
備 考	権現岩 	烽火山と啓翁桜 	つげ尾のガラ場 	高岳 

# 火曜岩



## 21/02/09(火) 川棚虚空蔵山(冒険コース)

### 概要

川棚虚空蔵さんは609mの低山とはいえ、その形状から九州のマッタンホールとも呼ばれている。山全体が岩山であり、木場登山口から冒険コースに分岐するとかなり緊張する。岩尾根あり、鎖あり、絶壁ありで危険でもあるが面白くもある。山頂は天気恵まれて360度視界良し、絶壁の上(草木がなければ)で昼食後、下山し岩屋権現移動。修験道場として信仰されている拝殿と神殿を結ぶ岩穴がありそれは耳穴と呼ばれ、親不孝者はお尻がつかえて通り抜けられないと言い伝えられているらしい。全員がクリヤ。この神仏の前で13人のサミット会議を行い、重要事項を誓い合ったが、帰りは道の駅でアイスクリームに舌鼓。誓いはすっかり忘れた。



白石 田中 福岡 川原 金丸 高田 大久保  
中野 中岡 田村 松岡 山本 鎗水

## 21/03/02(火) 白岳山(波佐見町)

### 概要



白岳山は中尾郷陶磁器の里から120m登った所で、昔陶石を採掘していた山。今は山頂に白山神社があるが、わずかに採掘の痕跡があるのみ。



下山後、登り窯跡を見学し鬼木の棚田に回ったが、緑の棚田は実に綺麗であった。黄金色の秋はどのような感じになるのだろうか。以前会員のMさんが絵付けをしている窯元で作品を買い求めた。

棚田と言い、車窓から海に立つ虹や、登り窯跡も、白岳山の頂上も大変良かったです。前方後円墳の話も忘れられません。車内のおしゃべりも楽しかったです。



田中 福岡 川原 金丸 高田  
中野 中岡 松岡 玉藤 鎗水

# 2/10(水) 岩屋山:十郎岳

参加者

福岡 今坂 大久保  
山下ち 高森 吉川

行程

西諫早駅 8:10~教会墓地 8:50~登山口発 9:35~丸太のベンチ 10:29~岩屋山頂上 11:00~十郎岳登山口 11:30~頂上 12:19~出発 12:50 十郎岳登山口 13:36~丸太ベンチ 14:08~教会墓地 15:00



岩場を登る



どんく岩



岩屋山山頂

**登山概要** 油木町コースを登る、城山カトリック教会聖母墓地に車を止める、標示板あり、フェンス沿いに坂道を登り、水道局施設を過ぎると山道になる、少し行くと小江原から来た道と合流。雑木林の高低差の少ない登山道を進むと、丸太で作ったベンチが有る場所に出。右は岩屋神社、左は舞岳方行。我々はここを直登し岩屋山を目指す、途中岩場を登る、急な登りが続く、岩屋山頂上は人が少ない。階段下りが嫌だと言う事で、登山者に階段を行かないで十郎岳へ行く道を教えてもらう、林道に出た、右は舞岳、左は岩屋神社、標識が無いので確認して直進する、広い尾根で急な登りも無く歩きやすい道でした、頂上の 40m手前からは、登山道一杯に大きな石がゴロゴロ出てきた、こんな道も珍しい、十郎岳は岩場で海や、手熊町、舞岳も見え展望が良い山でした。

## 一言感想

- \* 十郎岳は展望がよく山頂までのやせ尾根には大きな岩がゴロゴロした珍しい山でした。
- \* 岩屋山からの展望は何度見てもとても素晴らしい。十郎岳には初めて登りましたが、岩場で眺望の良い山でした。



ゴロゴロ石



十郎岳山頂

# BOULDERING

毎週土曜日 13:30～  
川床の「またたび」  
(月最終土曜は除く)



## ボルダリングをやる

通常、日課や週一のハイキング、登山で脚力は鍛えているが上半身の鍛錬はほとんどなしと言うのが実情ではなかろうか。

どのような低山でも数メートル級の岩場(ボルダー)があれば、そこを上下しなければ通過できない場合がある。

そのためには、その要領(バランス、判断、腕力、握力など)と慣れが必要である。その方法としてボルダリングは有効である。そこで、昨年12月よりボルダリングを開始した。当初3、4人参加すれば良しとしていたが、日を追う毎に参加者が増え7～10名程度になっている。数名は初めてと思えない程の軽業師もいるが、皆少しずつ上達してきている。

先が楽しみである。

ぜひ他の皆さんも見物に来てください。

なお、写真は「阿波踊り」ではありません。



Many Gallery

# 初冬の西九州縦走～郡岳～経・多良～一ノ宮岳～五家原岳～

フェニックスM. T. 山口千絵子氏 記

- ・ 第一日：11/21(土) 晴 09:23 野岳湖キャンプ場～09:50 郡岳西登山口～11:25 郡岳～12:00 遠目越～12:40 遠目山～13:38 春日越～14:20 岩屋越～14:55 狸だまり～16:10 つげ尾～16:45 経ヶ岳
- ・ 第二日：11/22(日) 曇/雨 06:30 幕地発～06:50 舞岳分岐～07:19 中山越～08:15 笹ヶ岳南峰～08:45 コルへ戻る～08:50 笹ヶ岳～09:00 笹ヶ岳北峰～09:50 西岳～10:05 金泉寺～11:05 国見岳～11:15 多良岳神社上宮～11:40 前岳(本多良)～12:30 黒木岳～12:50 一ノ宮岳～14:15 金泉寺～15:30 中岳～16:15 五家原岳～17:00 横峰越
- ・ 第三日：11/23(月) 曇/晴 06:15 幕地発～06:40 林道出合～07:40 五家原岳登山口～08:00 黒木バス停

## ■はじめに■

西諫早、多良見に拠点置く労山長崎県連の“オレンジハイキングクラブ”さんは、昨冬創立40周年をお迎えになった。この会の会員 No. 1 が川原慶紀さん。全国連盟隊で1994年シシヤパンマ無酸素、1998年チョモランマサミッターである。私のグレート・ヒマラヤ・トレイルが縁で交流が始まったのだが「さして高い山も無い長崎から8km峰登ったんだから。」と、仰る國分会員の言葉に感銘を受け、蛇が穴に入る時季を待ちサミッターも歩いた西九州最大のトレイルに行く。

## ■報告■

第一日：野岳湖～経ヶ岳

列車は諫早に近づく。目覚めると車窓には有明海の海面を誇らかに朝陽が照らし、対岸に雲仙岳山系が広がっていた。「オレンジの国へ来た!」JR大村駅で県営バスに乗り換え、終点野岳湖から県道6号線を30分弱歩き郡岳西登山口から縦走が始まる。

登山道脇の藪蘭は結実し、突然の山鳥の羽ばたきに驚き気持ちの良い自然林に行く。望(坊とも)岩を経由し、ヌルッと滑り易い岩場を越えると826mの山頂だ。気温7℃。手がかじかむ。男女が一組だけ。展望抜群で、出発地点の野岳湖や鉢巻山、大村湾を堪能。ネパールには無いのが、この海だ。ここから一旦大きくコル迄下り縦走路に入るが、ツバキ尾根と呼ぶらしい。

擦れ違う登山者は2、3人。静かだ。道々オレンジハイキングクラブさんが立てられた指導標に励まされる。岩屋越で佐賀・長崎県境を跨ぐ平谷・黒木トンネルを越え、最後に急な岩場を登れば17時前に多良山系の主峰、一等三角点の在る経ヶ岳(1,076m)着。

秋の落日は早く、寒気が押し寄せる。早々に狭い山頂にツェルトを張るのだが、刻々と変わる空と海と山脈の色の美しさに打たれ暫し動けず。有明海を中に横たえ茫と浮かぶ雲仙、最終地点の五家原岳。寒い焼酎をあおると結構眠れた。

秋の落日は早く、寒気が押し寄せる。早々に狭い山頂にツェルトを張るのだが、刻々と変わる空と海と山脈の色の美しさに打たれ暫し動けず。有明海を中に横たえ茫と浮かぶ雲仙、最終地点の五家原岳。

寒い焼酎をあおると結構眠れた。





## 第二日： 経ヶ岳～横峰越



今日は多良岳を越え五家原岳迄歩かねばならない。南寄りの風は、拓けた辻の中山越で北西の風へと変わった。笹ヶ岳には北峰、本峰、南峰と3つのピークが在るのだが、うっかり通過してしまい西岳手前で空身となり引き返す。北峰は何て事ない饅頭だ。一带の原生林はツクシシャクナゲの群生地と聞くが、蕾は少なめだ。来年は裏年なのかも知れない。雨含みの西風で寒い。グローブを厚手に換え、10時見慣れた金泉寺着。管理人さんにバイオトイレを借りる。縦走と知り「座禅岩から県境に直下降出来る道を自分達が整備したから。」と、地図をくれた。目印は南側の梯子だそう。金泉寺は空海創建の由緒ある寺で、愈々修験の感を強くする。昔、オオキツネノカミソリを見に来た時には印象に残らなかった役小角や板碑、岩肌に刻まれた梵字、羅漢や菩薩群に低頭しながら歩く。



上宮を経て前岳(本多良 983m)で深いガスに包まれ合羽を着る。この後は黒木岳から一ノ宮岳へと歩き、県境に沿う南側登山道を金泉寺へと引き返す。水を汲み缶ビールを買うが管理人さんが「縦走なら焼酎をタダで上げよう。」と、自分達用の一升瓶を分けてくれようとしたのだが生憎日本酒しか残っていない、お断りした。些少だがご寄付をして14:30五家原岳へ向け再出発。風が強く寒い。



昨夜、経ヶ岳山頂から仰いだ多良山系第二の標高を誇る五家原岳(1,067m)。雨とガスに巻かれ、放送局のアンテナが林立する山頂から震え乍ら幕地迄単調な下りを我慢し、17時横峰越着。樹間は既に闇と一体化し、雨中にラテでネグラの準備。金泉寺のスーパードライ2本で生き返る。翌朝ゆっくりと黒木集落へ下山。今年4月に「黒木民宿キャンプ場」でオレンジの川原顧問から聞かされたハン・テングリやポバーダ、シシャパンマの雄大、清潔で美しい映像とあの日を思い起し、世界的な新型コロナV禍、個人的失意や忍耐の2020年を振り返り、それでも必ずマカルーへ…の想いを新たにしたのであった。



# おれんじカレンダー

4月			5月		
1	木		1	土	ボルタリング
2	金		2	日	
3	土	第42回定期総会(西諫早公民館)	3	月	
4	日	岩屋山～稲佐山(自然保護部)	4	火	火曜岩ハイキング
5	月		5	水	水曜登山
6	火	火曜岩ハイキング	6	木	
7	水	水曜登山	7	金	
8	木		8	土	ボルタリング
9	金		9	日	名尾峠～金立山(自然保護部)
10	土	ボルタリング	10	月	
11	日		11	火	火曜岩ハイキング, 専門部会(山川町)
12	月		12	水	水曜登山
13	火	火曜岩ハイキング, 専門部会(山川町)	13	木	
14	水	水曜登山	14	金	
15	木		15	土	ボルタリング
16	金		16	日	英岩、本城岳、黒髪山(山行部)
17	土	ボルタリング	17	月	
18	日	国見山～八天岳(山行部)	18	火	火曜岩ハイキング
19	月		19	水	水曜登山
20	火	火曜岩ハイキング	20	木	
21	水	水曜登山	21	金	
22	木		22	土	ボルタリング
23	金		23	日	土器山、腰巻山(技術研修部)
24	土	コンパニオンレスキュー	24	月	
25	日	目丸山(技術研修部)	25	火	火曜岩ハイキング
26	月		26	水	水曜登山 全体集会(西諫早公民館)
27	火	火曜岩ハイキング	27	木	
28	水	水曜登山 全体集会(西諫早公民館)	28	金	高岩山(ひまわり部)
29	木		29	土	コンパニオンレスキュー
30	金	猿葉山(ひまわり部)	30	日	
			31	月	

川原顧問所掌 ➡ 火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合  
ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	中須賀 孝正
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、松岡正樹、工藤学、林孝子 中野美津子、田中静香、高森陽子、高田啓子
発行年月日	2021/3/28
郵便振込口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>